

當面の政治闘争に關する件 (本部提出)

全歐にストライキ小作農の嵐が起る。全歐の労働者農民は、文字通り、闘争が死かの境地を突き進んでゐる。然も、今や年末に臨して闘争は益々激化し資本家地主並にその政府の政策は断然なく激化されつゝある。然も、我プロレタリア運動は、未曾有の苦難時代に臨み、今こそ、全左翼陣士の決死的闘争が要求されてゐる。我々は自己の重大責任を認識し、率先して全大衆闘争の尖端に立ち、決死的な政治闘争を敢行する必要がある。

一

激化する大衆闘争の渦中に於ける我々の任務は、個々の經濟闘争を勝利に導くと同時に、それらの闘争とは獨立の、政治的カンパニアを推進し、資本家地主の政府に對する労働者農民の進軍を進めるにあるのだ。去十一月一日二日の第四回擴大中央執行委員會は、我々の對面の政治闘争に關して大體次の如き方針決定した。

中心スローガン

- 一、總ての失業者に日給一圓五十銭を出せ！
- 二、日給二圓五十銭を要求する「最低賃金制度」を即時實施しろ！

一一

去第四回擴大委員會は全歐的政治的カンパニアを起す爲に左の如き方針を定めた。

一、上述の政治的諸要求を包括し、来る可き第五十九國會を實現

- 一、このカンパニアに於ける進軍は、左の如くであるべきだ。
- 二期——十一月朔日から開始し、一月間を以て。
- 三期——労働者農民の休息を以て。
- 四期——労働者農民の休息を以て。
- 一、黨本部の具體的方針決定
- 二、地方的労働組合會の組織
- 三、プロレタリアに演説會によるアジツロ
- 四、地方的工代會、農民大會の組織
- 五、工代、農代を通しての地方的闘争の展開
- 六、闘争週間の敢行
- 七、黨大會を通しての地方的労働組合會
- 二、第二期闘争
- 一、全歐的労働組合會の組織
- 二、感々激化する地方的大衆闘争の展開
- 三、全歐的、組織的、直接演説會の敢行
- 四、全歐的、工代、農代の組織
- 六、ストライキ、デモによる大示威の敢行
- 三、第三期闘争
- 一、再び全歐的労働組合會の組織
- 二、我々代議士の議會内闘争

- 三、労働者農民の組織
- 四、地方的、組織的、工代、農代の組織
- 五、組織的アジツロ
- 六、再び闘争週間の敢行(ストライキ、デモの全歐的大示威)
- 七、労働組合、黨への大衆の組織化
- 一、労働組合、黨への大衆の組織化
- 二、以上の方針は更に充分實現され、完全に具體的なものたらしめられなければならない。
- 三、この闘争と組織して労働組合、農民組合の擴大強化が計画的に敢行されなければならない。

一二

今や、黨内闘争を捨て、我々は、今こそ身を、テイしてストライキ小作農を渾身の力に指導し、大衆の端初要求に基く闘争を全歐的に激化すると同時に、如々に政治闘争を組織し、大衆を革命的に訓練し、如々に切迫しつゝある階級主義闘争の危険と徹底的に抗争する準備をこのへねばならぬ。不爾に大衆闘争の中へ飛び込むことなして、何のマルクス主義的指導をや！ 確信を以て大衆的日當闘争の尖端へ！ 全歐的政治闘争へ！

階級的労働者農民萬歳！

階級力で資本家地主の議未政敵に遊説しろ！

資本家地主の政府を打倒せ！

労働者農民の政府樹立！